

GoogleApps を用いた学生の 歯の健康管理の新しい手法について

川本 勝

A New Management Method of the Dental Health for our Students by using the Google Apps

KAWAMOTO, Masaru

Abstract

A new method of life management of dental health care for our students was developed with Google Apps. These results are reported as follows. Dental health, in order to enjoy a comfortable life is very important. Therefore, dental health care is one of the most important things among life management. This is consistent with the 8020 movement which has promoted aggressively by the Ministry of Health, Labour and Welfare, and the Japan Dental Association. Currently, there are no problems with the teeth of most of our students. And, they have almost no knowledge about the dental health care. Therefore, they have no much interest in dental information. And, they have some careless eating habits on their dental health. But, as a result of this exercise on the theme "Life-Management and Dental health care" which uses a Web-text on the GoogleApps-site and Google, Word, Excel, PowerPoint as a tool, half of our students answered "helpful". Their interest level has been improved in all categories compared to before this exercise. Especially, they showed a strong interest in the scaling treatment and the whitening treatment and the orthodontic. From these facts, it is found that the instruction using a Web-text on the GoogleApps-site is very effective in the dental health care of our students.

要 約

GoogleApps を用いた学生の為の歯の健康管理の新しいライフマネジメント手法を開発したので、その成果を報告する。歯の健康は、人生を楽しく快適に過ごすためには非常に重要である。

従って、歯の健康管理はライフマネジメントの中でも最も重要なものの一つである。これは日本歯科医師会と厚生労働省が積極的に推進している 8020 運動とも合致する。現在、

我々の学生は歯に殆ど問題が無く、歯の健康に関する知識がほとんど無い。その為、歯科情報にはあまり関心が無く、歯の健康に悪い食習慣を持っている。しかし、「ライフマネジメントと歯の健康管理」をテーマに、GoogleAppsの site に制作したWebテキストとGoogleやWord・Excel・PowerPointを道具として演習を行った結果、半数の学生は役に立ったと答えた。また、演習前に比べて関心度が全項目で改善した。特に、彼等はホワイトニングやスケーリング治療、矯正歯科について強い関心を示した。以上の事実から、GoogleAppsの site で作ったWebテキストを用いた啓蒙は、学生の歯の健康管理に非常に効果が有る事が解った。

キーワード

GoogleApps (GoogleApps)
歯の健康管理 (Dental Health Management)
ライフマネジメント (Life Management)
アンケート調査 (Questionnaire)

序 論

歯の健康は、長い人生を楽しく快適に過ごすためには非常に重要で、最も不可欠な要素の一つである。従って、歯の健康管理は、ライフマネジメントの中でもとりわけ最重要な要素の一つである。しかし、通常、歯の健康検診は小学校では実施されても、大学などでは実施されていない。それは、文部科学省や厚生労働省があまり重要視していないからである。

ところで、歯の健康管理に関する基礎知識を体系的に得るには大学時代が最後の機会である。その後は、自分から求めて機会を作らなければ、歯の健康を損ねて歯科を受診するまで得る事は出来ない。

平成23年に厚生労働省が実施した歯科疾患実態調査(2011)では、歯周ポケットが4mm以上もある歯周病が疑われる被験者が20代では僅か15%程度であるにもかかわらず、その後の年代ではその比率はうなぎ昇りに増加し、50代後半では遂に半数に上る事が解っている。

従って、大学を卒業した後の長い人生で、歯の健康に関する知識を自分から積極的に得る姿勢を養う上でも、大学におけるこの種の啓蒙は大変重要である。

東京家政学院大学の上村協子教授(2012)は知恵蔵2012の中で「生活経営(Life Management)」という用語を、「個人の視座から生活をマネジメントする方法。行政や市場からの視点ではなく、生活の現場から主体的に選択した目標を実現するため、社会の中で他者と相互に関わりながら、自分自身の能力を開発していく。PDCAマネジメントサイクル(plan=計画/do=実行/check=評価/action=見直し)は生活経営でも用いられる。」と定義している。

筆者は、これらの点に着目し、我々の学生が、簡単に便利に歯の健康に関する知識を得て、自らライフマネジメントとして自身の歯の健康を管理・維持する方法を開発したので、その成果を報告する。その簡単で便利な方法とは、学内に導入されているGoogleAppsの site (サイト) を用いたWebテキストによる全く新しいマネジメント手法である。以下は、その詳細な報告である。

1. GoogleAppsを用いた学生の歯の健康管理の新しい手法

自分が健康であるかどうか、人は誰でも気になる事である。人より健康で有れば安堵し、そうでなければ不安が募る。例え、今は健康で安堵出来ても、将来の事が気に掛かるのが人の性である。歯の健康も、勿論、この中に入る。

筆者は、人のこの性向を利用して、先ず、第1段階として、歯の健康状況のアンケート調査を集団で自ら行なわせ、自分が集団の中でどの位置に有るのかを自覚させて、今迄頓着して来なかった歯の健康に関する興味や注意を喚起させる。第2段階では、歯の疾病や治療法にはどのようなものが有るのかを学生自らGoogleを用いて情報収集させ学習させて、それらの情報をWordとExcelを用いてレポートにまとめさせ、PowerPointを用いてプレゼンテーションできる成果物を作成させる。そして、第3段階では、いよいよ、自分の歯の健康を維持するためのライフプランを自ら立てさせる。

これら、3段階の随所に其々GoogleAppsのsiteを用いたWebテキストを多用する。

また、これらは、筆者が担当している総合政策学部の情報リテラシーの授業の中でExcelの応用演習の課題として実施される。即ち、学生諸君は、情報リテラシーで課せられたExcelの応用演習を行いつつ、同時に、自身の歯の健康管理に関するライフマネジメント術を獲得する訳である。

1.1 第1段階：歯の健康アンケート

先ず、第1段階では、アンケート調査票をGoogleAppsのsite(サイト)を用いた情報リテラシーのWebテキスト(授業では、別途、正規の教科書を使用しているので、混同を避けるため敢えて「授業ノート」と呼んでいる)に作成し(図1.1a)、学生自ら自身の歯の健康アンケートの回答をExcelを用いて作成し(図1.1b)、gmailに添付して(図1.1c)、筆者に送信する(図1.1d)、筆者は、学生から回収した回答をExcelを用いて集計し(図1.1e)、その結果を再びWebテキストに作成して、学生に提示する(図1.1f)。学生は、その結果を見て、自分の位置を自覚すると共に、Excelの応用演習の課題として集計されたデータから分析グラフを作成する事を通じて、ライフマネジメントとしての評価(Check)の具体的な手法を習得する。

1.2 第2段階：歯科情報の収集

第2段階で、学生は上記の結果を基に自身の状況を認識し、Googleを用いてネットから歯の疾病や治療法に関する歯科情報を広く検索・収集し(図4e)、学習する。

1.3 第3段階：歯の健康管理レポート

第3段階では、上記の第1～第2の段階の結果に基づいて、いよいよ、自分の歯の健康を管理するためのライフプランを自ら立てさせ、Wordを用いてレポート(図4f)にまとめると共に、PowerPointを用いてプレゼンテーション(図4g)を作成させる。

レポートおよびプレゼンテーションは、gmailに添付して、筆者に送信させ、最後に筆者がそ

れらをまとめて総評を行う。

1.4 事後アンケート

最後に、事後アンケートを取って、演習の効果进行分析する。

情報リテラシー II

歯の健康アンケート

アンケートは2種類あります。

アンケートの提出方法
1. 授業ノートからアンケートをExcelにコピーして貼り付けて、Sheetに貼り付けます。
アンケートは、Sheetに貼り付けます。

2. 自分PCのフォルダが情報/ナシラ〜型にファイル名1番の健康アンケート31200000〜型をダウンロード
3. アンケートに答える
4. 上書き保存する
5. メールに添付して提出します。
作者は歯の健康アンケート31200000〜型をダウンロード

アンケート1 Sheetに貼り付けます。
あなたの歯の状態の状況を確認し、該当する数字で答えて印刷が簡単に出来ます。

歯の位置の番号は、下図を参照して下さい。

歯の状態はどうですか？
1. 健康 2. 欠けた歯 3. 抜けた歯 4. 治療済歯

歯から血が出ますか？
1. 欠けた歯 2. 欠けた歯 3. 欠けた歯 4. 欠けた歯 5. 欠けた歯

歯が動きますか？
1. 歯が動かない 2. 歯が動く 3. 歯が動く 4. 歯が動く

歯が腫れていますか？
1. 歯が腫れない 2. 歯が腫れる 3. 歯が腫れる

【歯の位置No】 図をクリックすると拡大します。

↑ここからExcelにコピーして貼り付けます。

アンケート	左	右														
歯No	8	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8
上	状態															
	出血															
	動揺															
	腫肉															
下	状態															
	出血															
	動揺															
	腫肉															

アンケート2 Sheetに貼り付けます。
下記の箇所に答えて下さい。答えの数字を回答欄に記入して下さい。
その他の回答は、()内に記入して下さい。

↑ここからExcelにコピーして貼り付けます。

No	問	答	回答欄
1	先生は好きですか？ 1. 大好き 2. 少し好き 3. なんともしっくりない 4. 少し嫌い 5. 大嫌い		1
2	あなたは、いつ歯を磨きますか？ (答えはいつでもOKです) 1. 歯磨きしない 2. 寝起きの時 3. 起床後 4. 昼食後 5. 夕食後 6. 就寝前 7. 何か食べた後 8. 毎食後		
3	あなたは、いつ歯を磨きますか？ (答えは1番だけ選んで下さい) 1. 歯磨きしない 2. 毎日 3. 1回程度 4. 1回程度 5. 歯磨きしない 6. 歯磨きしない		
4	あなたは歯磨き剤を使う道具はどれですか？ (答えはいつでもOKです) 1. 歯ブラシ 2. 歯間ブラシ 3. フロス 4. 歯の粉 5. その他()		
5	あなたは、歯が痛くなった時、どうしますか？ (答えはいつでもOKです) 1. 歯科医院に行く 2. 薬を飲む 3. 歯を磨き続ける 4. 何もせずに待つ		
6	あなたは、歯科医院に行った事がありますか？ (答えは1番だけ選んで下さい) 1. 無い 2. 1回ある 3. 2回ある 4. 3回以上ある		
7	あなたは、歯科医院が好きですか？ (答えは1番だけ選んで下さい) 1. 大好き 2. 少し好き 3. 好きでも嫌いでも無い 4. 少し嫌い 5. 大嫌い		
8	あなたは、歯科医院をどう思いますか？ (答えはいつでもOKです) 1. 良い 2. 無い 3. 高い 4. 高い 5. 何ともし難い 6. 安い 7. 清潔 8. 賑い 9. 静か		
9	あなたの好きな食べ物は何ですか？ (答えはいつでもOKです) 1. 寿司 2. 和食 3. ケーキ 4. 揚げ物 5. パン 6. 茶 7. コーヒー 8. ココア 9. コーラ		
10	あなたはどのくらい歯を磨きますか？ (答えは1番だけ選んで下さい) 1. 歯磨きしない 2. 1日1回程度 3. 2日1回程度 4. 1日10分以上磨く		
11	あなたはどのくらい歯を磨きますか？ (答えは1番だけ選んで下さい) 1. 歯磨きしない 2. 歯磨きしない 3. 歯磨きしない 4. 歯磨きしない 5. 歯磨きしない		
12	あなたは他人の歯の臭いが気になりますか？ (答えは1番だけ選んで下さい) 1. 歯磨きしない 2. 歯磨きしない 3. 歯磨きしない 4. 歯磨きしない 5. 歯磨きしない		
13	あなたはどのくらい歯を磨きますか？ (答えは1番だけ選んで下さい) 1. 歯磨きしない 2. 歯磨きしない 3. 歯磨きしない 4. 歯磨きしない 5. 歯磨きしない		
14	歯の臭いは気になりますか？ (答えはいつでもOKです) 1. 歯磨きしない 2. 歯磨きしない 3. 歯磨きしない 4. 歯磨きしない 5. 歯磨きしない 6. 歯磨きしない		
15	あなたは、歯を磨きながらスナックや飲み物を飲む事はありますか？ (答えは1番だけ選んで下さい) 1. 知らない 2. 知れない 3. 歯磨きしない 4. 歯磨きしない 5. 歯磨きしない 6. 歯磨きしない 7. 歯磨きしない		
16	あなたは、歯を磨きながらスナックや飲み物を飲む事はありますか？ (答えは1番だけ選んで下さい) 1. 知らない 2. 知れない 3. 歯磨きしない 4. 歯磨きしない 5. 歯磨きしない 6. 歯磨きしない 7. 歯磨きしない		
17	あなたは、歯を磨きながらスナックや飲み物を飲む事はありますか？ (答えは1番だけ選んで下さい) 1. 知らない 2. 知れない 3. 歯磨きしない 4. 歯磨きしない 5. 歯磨きしない 6. 歯磨きしない 7. 歯磨きしない		
18	あなたは、歯を磨きながらスナックや飲み物を飲む事はありますか？ (答えは1番だけ選んで下さい) 1. 知らない 2. 知れない 3. 歯磨きしない 4. 歯磨きしない 5. 歯磨きしない 6. 歯磨きしない 7. 歯磨きしない		
19	あなたは、歯を磨きながらスナックや飲み物を飲む事はありますか？ (答えは1番だけ選んで下さい) 1. 知らない 2. 知れない 3. 歯磨きしない 4. 歯磨きしない 5. 歯磨きしない 6. 歯磨きしない 7. 歯磨きしない		

図 1.1a

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
1	アンケート1																
2	歯No	8	7	6	5	4	3	2	1			1	2	3	4	5	6
3	上	状態															
4		出血															
5		動揺															
6		腫肉															
7	下	歯No	8	7	6	5	4	3	2	1		1	2	3	4	5	6
8		状態															
9		出血															
10		動揺															
11		腫肉															
12																	
13																	

図 1.1b

No	問	答	回答欄
1	先生は好きですか？ 1. 大好き 2. 少し好き 3. なんともしっくりない 4. 少し嫌い 5. 大嫌い		1
2	あなたは、いつ歯を磨きますか？ (答えはいつでもOKです) 1. 歯磨きしない 2. 寝起きの時 3. 起床後 4. 昼食後 5. 夕食後 6. 就寝前 7. 何か食べた後 8. 毎食後		
3	あなたは、いつ歯を磨きますか？ (答えは1番だけ選んで下さい) 1. 歯磨きしない 2. 毎日 3. 1回程度 4. 1回程度 5. 歯磨きしない 6. 歯磨きしない		
4	あなたは歯磨き剤を使う道具はどれですか？ (答えはいつでもOKです) 1. 歯ブラシ 2. 歯間ブラシ 3. フロス 4. 歯の粉 5. その他()		
5	あなたは、歯が痛くなった時、どうしますか？ (答えはいつでもOKです) 1. 歯科医院に行く 2. 薬を飲む 3. 歯を磨き続ける 4. 何もせずに待つ		
6	あなたは、歯科医院に行った事がありますか？ (答えは1番だけ選んで下さい) 1. 無い 2. 1回ある 3. 2回ある 4. 3回以上ある		
7	あなたは、歯科医院が好きですか？ (答えは1番だけ選んで下さい) 1. 大好き 2. 少し好き 3. 好きでも嫌いでも無い 4. 少し嫌い 5. 大嫌い		
8	あなたは、歯科医院をどう思いますか？ (答えはいつでもOKです) 1. 良い 2. 無い 3. 高い 4. 高い 5. 何ともし難い 6. 安い 7. 清潔 8. 賑い 9. 静か		
9	あなたの好きな食べ物は何ですか？ (答えはいつでもOKです) 1. 寿司 2. 和食 3. ケーキ 4. 揚げ物 5. パン 6. 茶 7. コーヒー 8. ココア 9. コーラ		
10	あなたはどのくらい歯を磨きますか？ (答えは1番だけ選んで下さい) 1. 歯磨きしない 2. 1日1回程度 3. 2日1回程度 4. 1日10分以上磨く		
11	あなたはどのくらい歯を磨きますか？ (答えは1番だけ選んで下さい) 1. 歯磨きしない 2. 歯磨きしない 3. 歯磨きしない 4. 歯磨きしない 5. 歯磨きしない		
12	あなたは他人の歯の臭いが気になりますか？ (答えは1番だけ選んで下さい) 1. 歯磨きしない 2. 歯磨きしない 3. 歯磨きしない 4. 歯磨きしない 5. 歯磨きしない		
13	あなたはどのくらい歯を磨きますか？ (答えは1番だけ選んで下さい) 1. 歯磨きしない 2. 歯磨きしない 3. 歯磨きしない 4. 歯磨きしない 5. 歯磨きしない		
14	歯の臭いは気になりますか？ (答えはいつでもOKです) 1. 歯磨きしない 2. 歯磨きしない 3. 歯磨きしない 4. 歯磨きしない 5. 歯磨きしない 6. 歯磨きしない		
15	あなたは、歯を磨きながらスナックや飲み物を飲む事はありますか？ (答えは1番だけ選んで下さい) 1. 知らない 2. 知れない 3. 歯磨きしない 4. 歯磨きしない 5. 歯磨きしない 6. 歯磨きしない 7. 歯磨きしない		



図 1.1c

図 1.1d

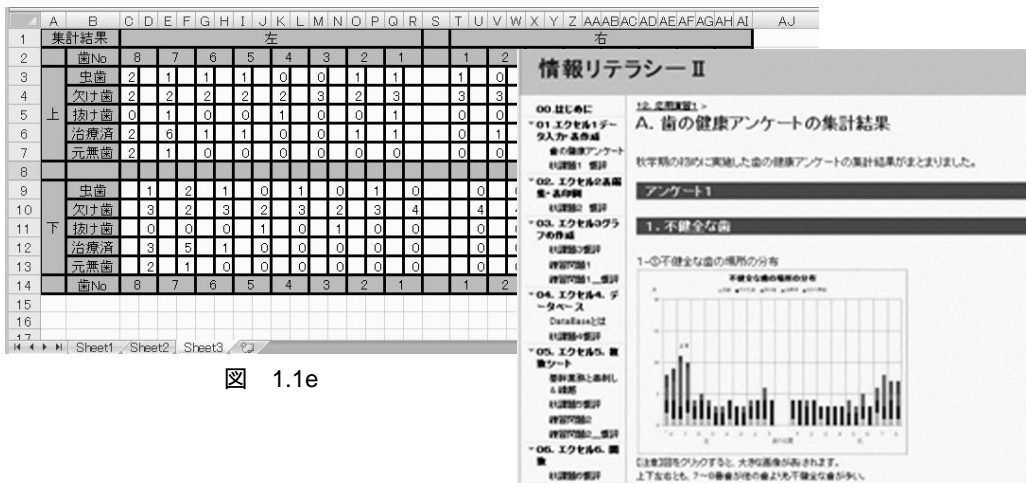


図 1.1e

図 1.1f

2.実施対象

実施対象は、筆者が担当する情報リテラシー の受講生クラスのみである。同クラスの受講生は35名で、全員が総合政策学部 に所属している。その内、女性は13名 (37.1%) であった。同じく、2名 (5.7%) は総合政策学科の1年生であり、その他33名 (94.3%) はライフマネジメント学科の1年生である (表2.1)。ただし、年齢分布および現役・浪人の別は、データが無い為、不明である。

表 2.1

受講生 35名	女性13名 (37.1%)	ライフマネジメント学科 33名 (94.3%)
	男性22名 (62.9%)	
		総合政策学科2名 (5.7%)

3. 歯の健康アンケート

第1段階として、前章の1.1で詳述した歯の健康アンケート（図1.1a）を、秋学期の第1回目の授業で実施した。同クラスの受講生は35名であるが、アンケート実施当日の欠席者は4名であったため、アンケート回答者は31名であった（表3.1aの および ）。

その内、アンケート では、口腔内の上下左右1本1本の歯の現状を、「歯の状態、出血、動揺、歯肉の腫れ」の4カテゴリーに分けて、学生自身がその状況を調べた。

歯の場所には、便宜上、歯の位置Noを振った（図1.1a）。ちなみに、今回の歯の位置Noは学生自身が自分の歯をチェックする為、自身から見た歯の位置になる為、歯科医が通常用いている歯の位置Noとは左右が逆になっている。

歯の状態は、

1.虫歯、2.欠けた歯、3.抜けた歯、4.治療済歯、5.元から無い歯、
の5種に分けて状態を同定する。

同じく、出血は、1.出た事が有る、2.時々出る、3.いつも出る、4.膿が出る。

歯の動揺は、1.少し動く、2.よく動く、3.抜けそう。

歯肉の腫れは、1.腫れた事が有る、2.よく腫れる、3.今腫れている、4.（腫れて）痛い、
とした。

図1.1b～dにあるような方法によって回収されたアンケート・データの内、アンケート ではデータ不良が3名有ったので、アンケート の集計に出来たのは28名分であった（表3.1aの ）。アンケート の内、女性は12名（43%）であった。同じく、アンケート の内、2名（7%）は総合政策学科の1年生であり、その他26名（93%）はライフマネジメント学科の1年生であった。

また、アンケート では、歯に関係する生活習慣や印象などを幅広く聞いた。アンケート ではデータ不良が1名有ったので、アンケート の集計に出来たのは30名分であった（表3.1aの ）。

アンケート の内、女性は12名（40%）であった。同じく、アンケート の内、2名（7%）

は総合政策学科の1年生であり、その他28名(93%)はライフマネジメント学科の1年生であった。

以下に、アンケート および の集計結果とその分析結果を詳述する。

3.1 アンケート

本来、理想的には、成人は一人当たり上下左右8本ずつ合わせて32本の永久歯が生えている筈であるから、データが収集できた28名の合計では、 $32本/人 \times 28人 = 896本$ の歯が存在することが理想である。

今回、アンケートの結果、虫歯や欠けた歯、抜け歯、治療済、元から無い歯など原形を留めない不健全な歯は、出席者28人で合わせて156本あった。これは、全体の17.4%である。その内訳は表3.1bおよび図3.1a～cの通りである。

不健全な歯の内訳は、欠けた歯が一番多く、上下合わせて不健全な歯全体の約53%を占めた。次いで、治療済が上下合わせて21%、虫歯14%、抜け歯6%、元から無い歯6%であった。

表3.1a

アンケート	I	II	III
受講生	35		35
欠席者	4		12
出席者	31		23
データ不良	3	1	0
データ数	28	30	23
男	16	18	13
女	12	12	10

単位は全て[人]

表3.1b

不健全な種類	上	下	合計
虫歯	13	8	21
欠けた歯	38	45	83
抜け歯	4	6	10
治療済	19	13	32
元から無い歯	5	5	10
合計	79	77	156

[本]

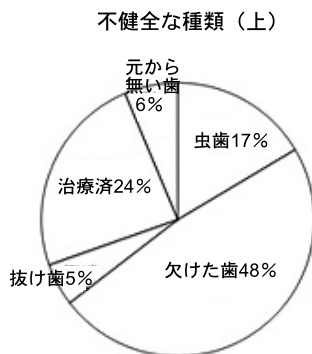


図3.1a

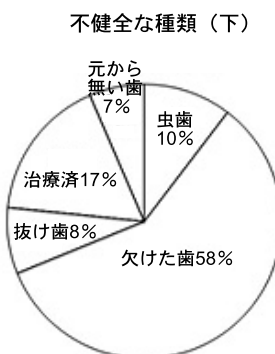


図3.1b

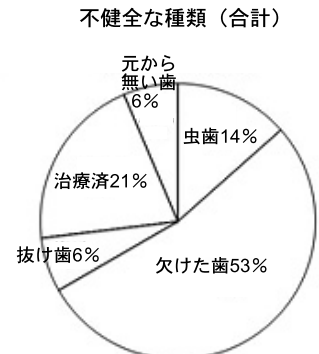


図3.1c

これらを、不健全な歯を持っている人のヒストグラムにして見ると、不健全な歯が0本の学生が一番多いが、全ての歯(32本)が不健全である学生も3名いた(図3.1d)。

また、これらを、一人で何種類の不健全な歯を持っているかというヒストグラムに直して見ると、0ないしは1種類の学生が多かった（図3.1e）。

また、今回のアンケートからは、上下左右とも主に前歯中央から数えて7・8番歯に不健全な歯が多いという結果がでた（図3.1f）。

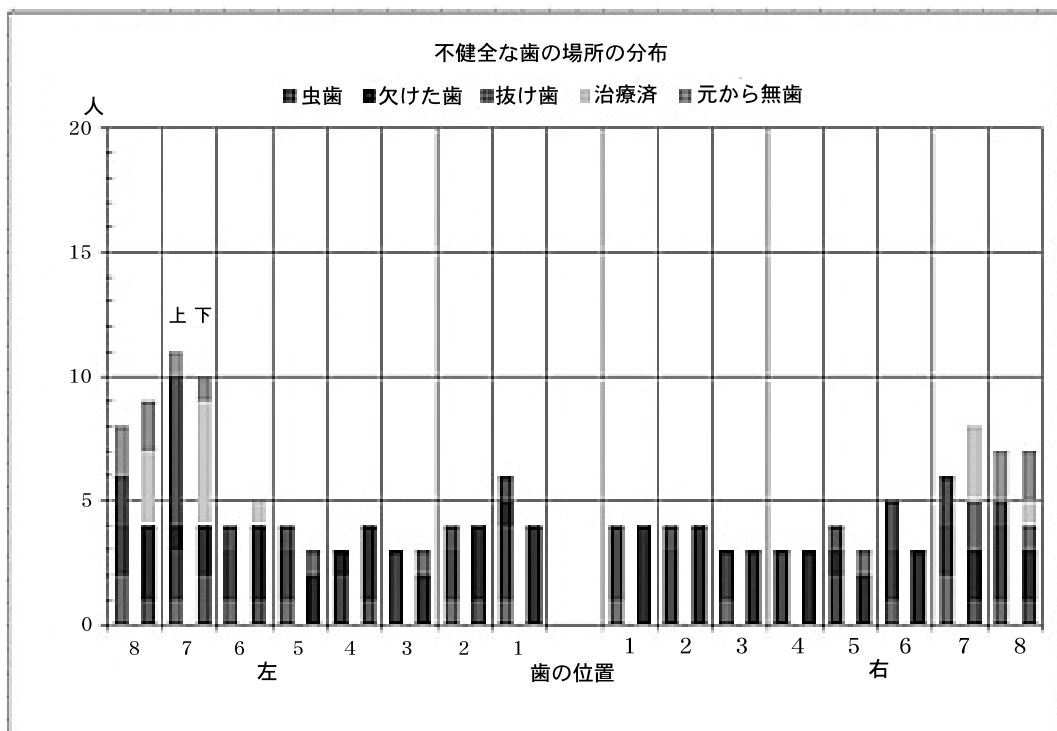
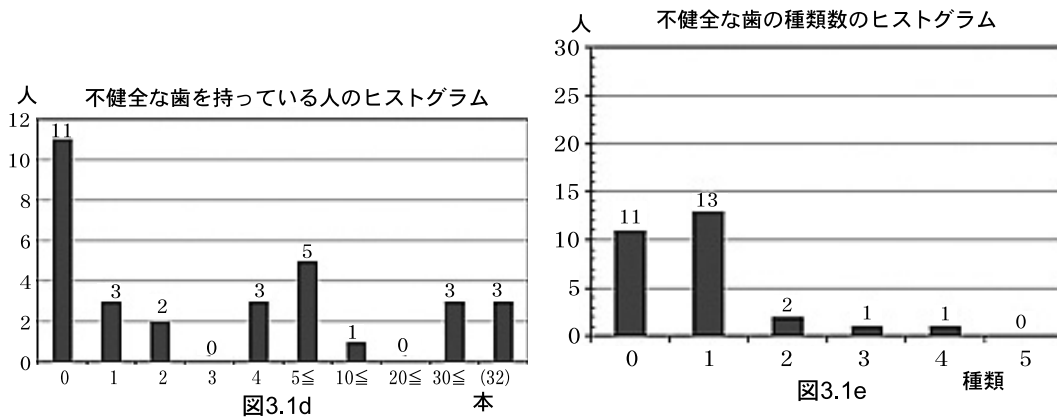


図3.1f

同じく、歯肉（歯茎）からの出血に着目すると、出血する歯を持っている学生は全体の22%に過ぎず、78%の学生は出血した事が無いと答えているが、中には全歯（32本）で出血すると答えた学生も2人（7%）いた（図3.1gおよびh）

なお、歯肉からの出血は上下左右とも主に前歯1～3番歯に多く見られるが（図3.1i）上下とも、かつて血が出た事が有るという程度が一番多く、いつも血が出る学生は少なく、膿が出る学生はいない（図3.1jおよびk）

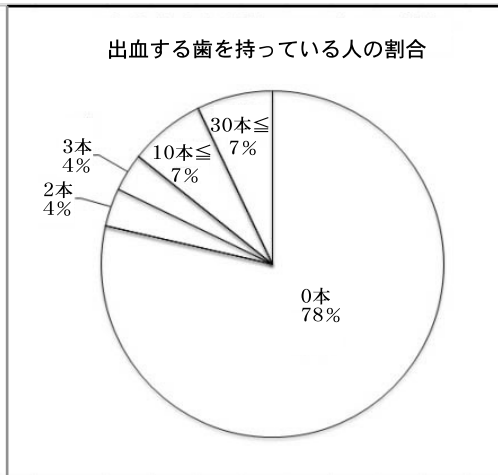


図3.1g

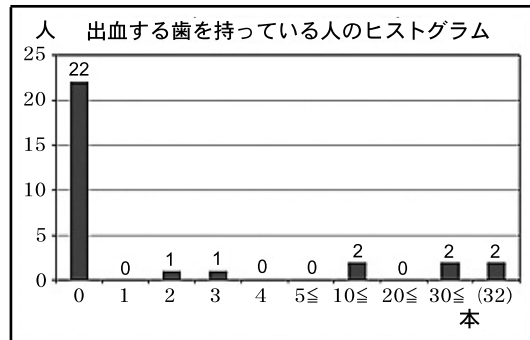


図3.1h

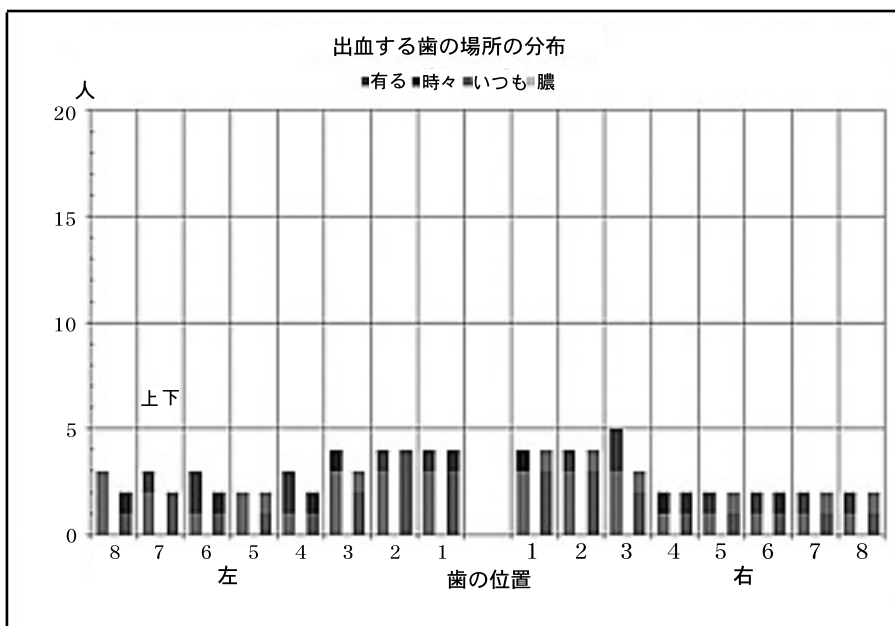


図3.1i

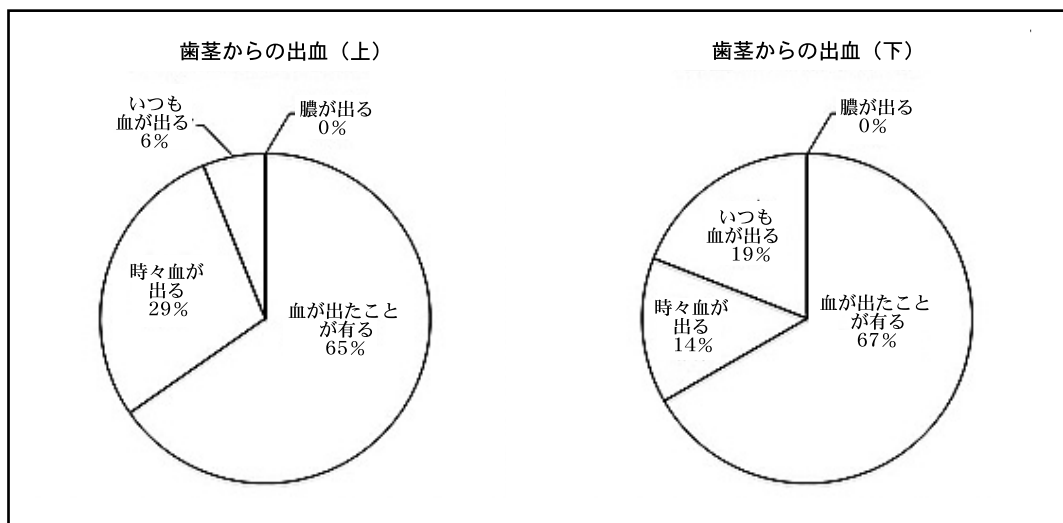


図3.1j

図3.1k

また、歯の動揺については、動揺する歯を持っている学生は全体の僅か7% (2人) に過ぎず、93%の学生は歯の動揺が無いと答えているが、歯が動揺する学生は全歯 (32本) で動揺すると答えている (図3.1l およびm)。動揺の程度は、少し動く程度が半数であるが、中には抜けそうな歯も有る (図3.1o およびp)。

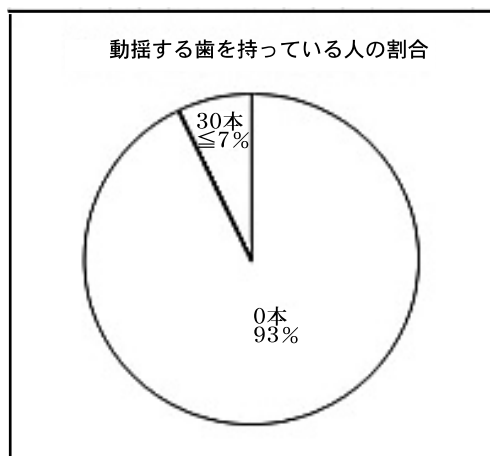


図3.1l

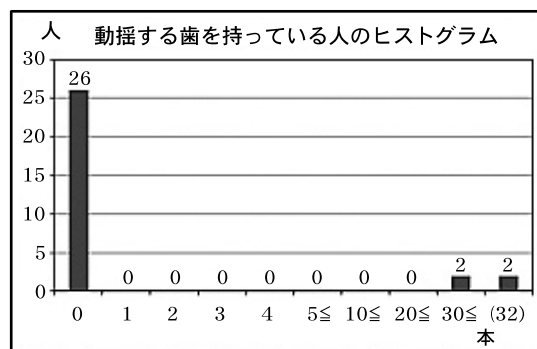


図3.1m

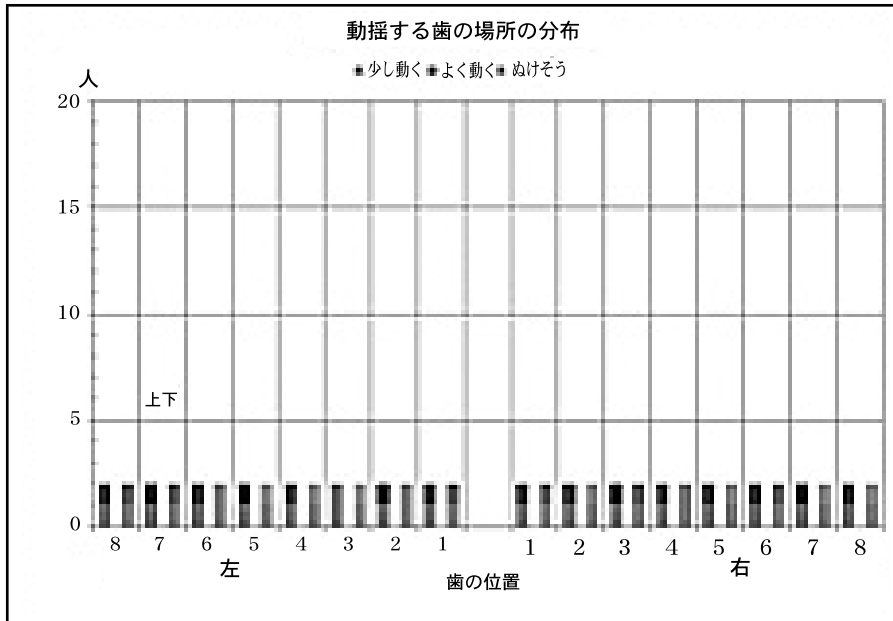


図3.1n

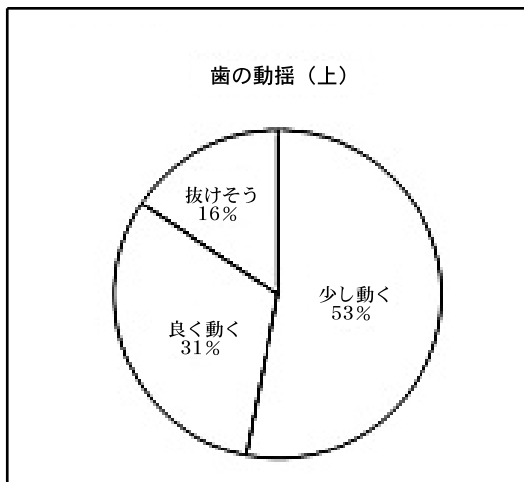


図3.1o

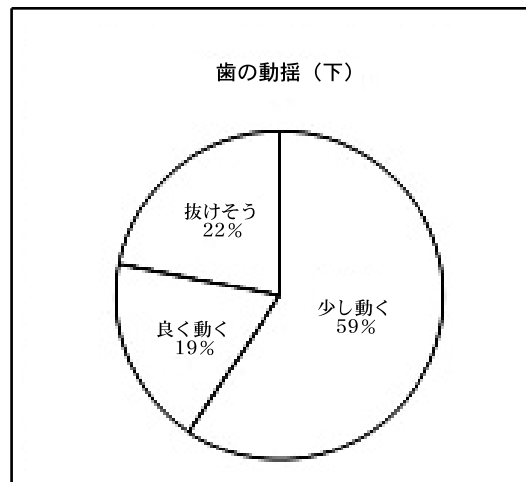


図3.1p

なお、歯肉の腫れについては、歯肉が腫れている学生は全体の僅か14%（4人）に過ぎず、86%の学生は歯肉の腫れは無いと答えているが、全歯（32本）で歯肉が腫れていると答えた学生も2名いた（図3.1qおよびr、s）。歯肉が腫れた事が有るという程度が一番多く、いつも腫れている歯肉は少なく、腫れて痛いという歯は無かった（図3.1tおよびu）。

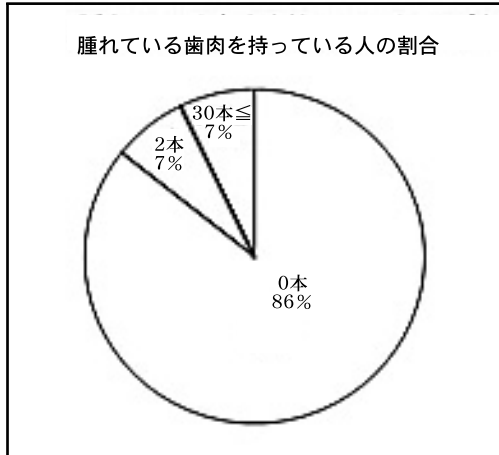


図3.1q

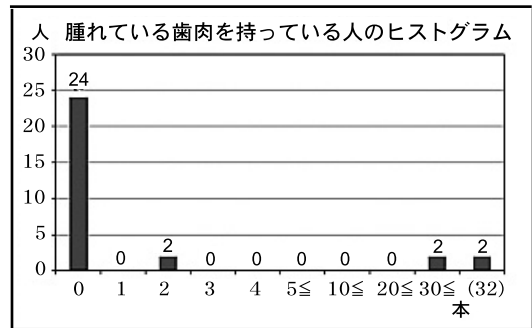


図3.1r

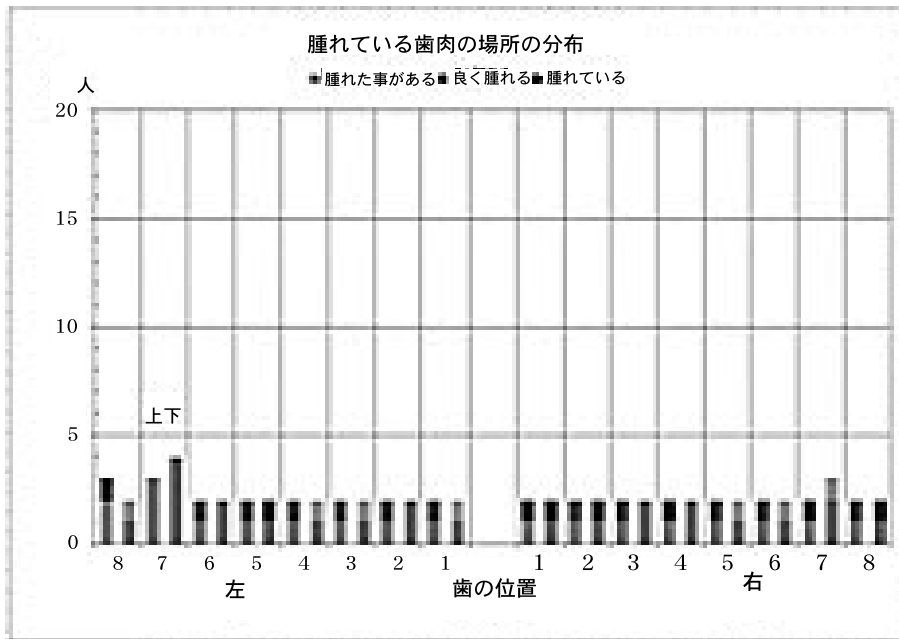


図3.1s

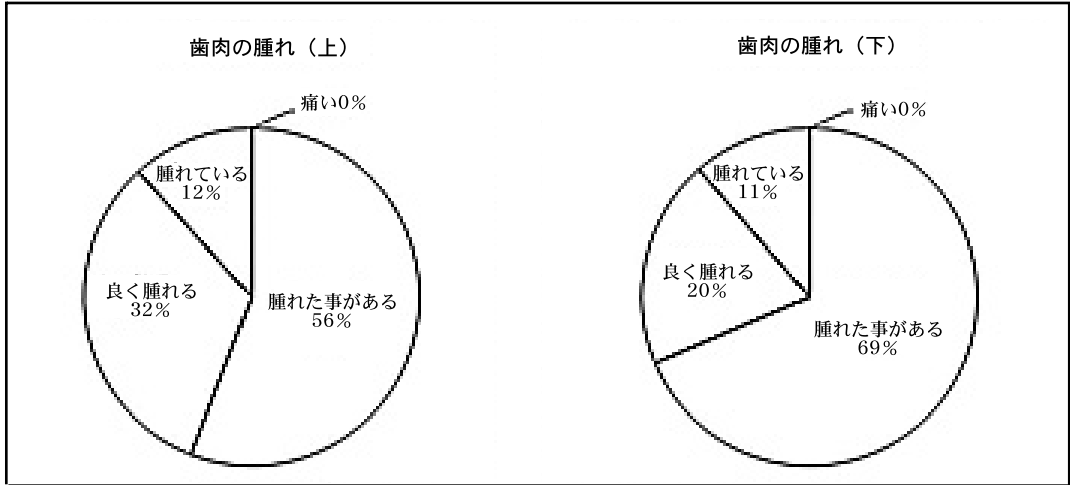


図3.1t

図3.1u

3.2 アンケート

3.2.1 歯を磨くタイミング

設問1では、学生の歯を磨くタイミングについて、重複回答を可として調査した。

その結果は図3.2aの通りであるが、学生の22%が毎食後に磨くと答えて一番多く、これに次いで、就寝前に磨くと答えたのが20%、以下、朝食後18%、朝起床時16%、夕食後13%、何か食べた後毎に(図中では「食後」と略記)11%、で、昼食後は0%であったが、しない(磨かない)と答えた学生はいなかった。

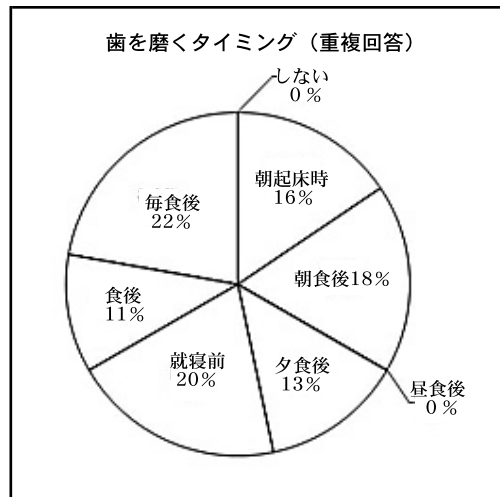


図3.2a

3.2.2 歯を磨く習慣

設問2では、学生の歯磨きの習慣について調査した。

その結果は図3.2bの通りであるが、学生の90%が毎日磨くと答えて一番多く、これに次いで、しない(磨かない)と答えたのが7%、週1回程度3%で、月1回程度や年1回程度、ないし歯磨きは嫌いな学生はいなかった。磨かないや週1回程度と答えた学生は、今後の歯の健康維持に不安が残る。

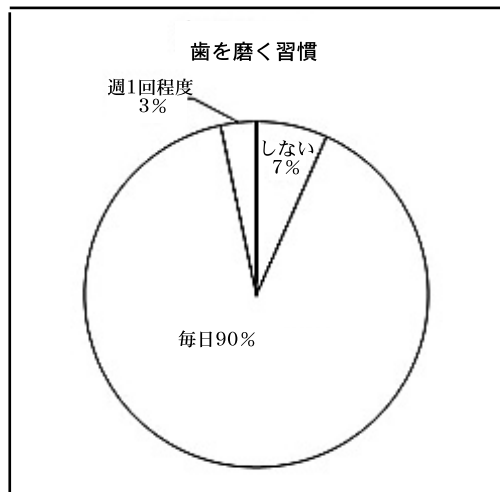


図3.2b

3.2.3 歯を磨く道具

設問3では、学生の歯磨きの道具について、重複回答を可として調査した。

その結果は図3.2cの通りであるが、学生の94%が歯ブラシを使うと答えて一番多く、これに次いで、歯間ブラシ3%、その他として電動歯ブラシ3%で、デンタルフロスや手の指はいなかった。

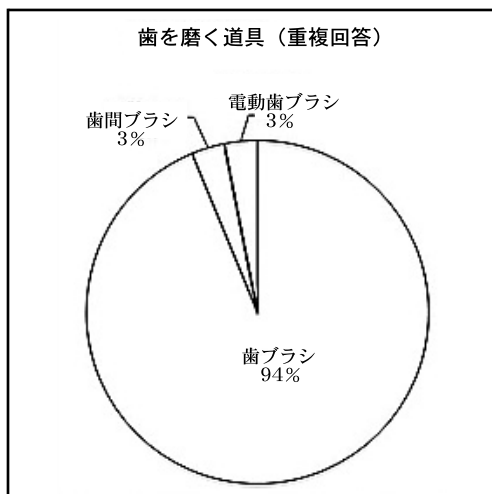


図3.2c

3.2.4 歯肉からの出血

設問4では、歯周病に関係の有る、歯肉からの出血に付いて、歯を磨いたり、物を食べたりすると歯肉から出血した事が有るか聞いてみた。

その結果は図3.2dの通りであるが、27%の学生は歯肉から出血した事が無いと回答しているが、60%の学生は歯肉から出血した事が有ると答え、13%の学生は時々出血すると答えている。しかし、いつも出血するや、いつも多く出血したり、出血すると血が止まらない学生はいなかった。

従って、既に、合わせて73%の学生は歯周病に罹患している可能性が有る。

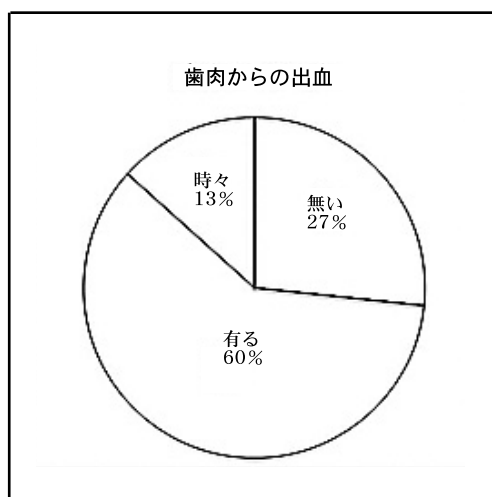


図3.2d

3.2.5 歯痛への対応

設問5では、歯が痛くなった時は、どのように対応しているかを聞いた。

その結果は図3.2eの通りであるが、90%の学生は歯科医院を受診、3%の学生は薬局で薬を買って済ます、7%の学生は無し(ガマン)と答えたが、痛い歯を自分で抜くと答えた学生はいなかった。

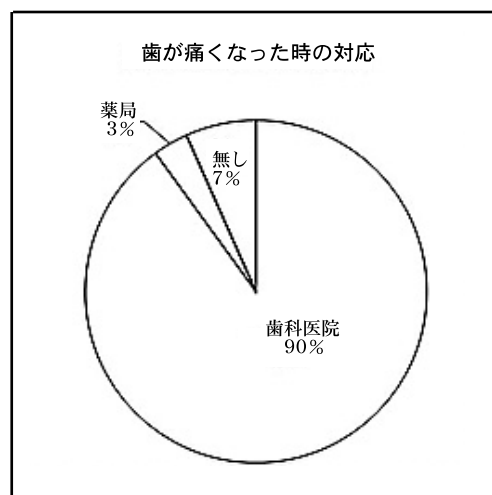


図3.2e

3.2.6 歯科受診経験

設問6では、歯科医院受診の経験の有無を聞いた。

その結果は図3.2fの通りであるが、70%の学生は今迄に3回以上経験が有り、2回13%、1回7%、無い10%で、合わせて、1回以上受診の経験者は90%であった。

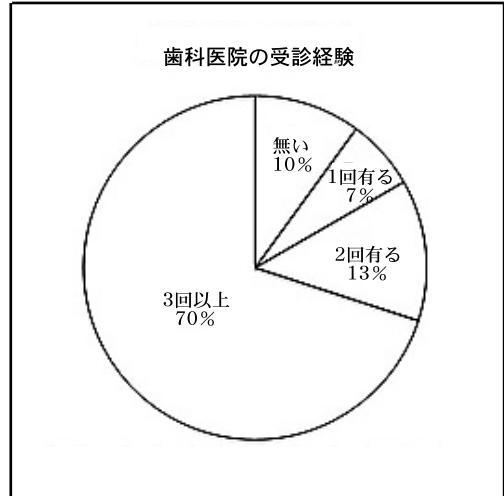


図3.2f

3.2.7 歯科医院への好き嫌い度

設問7では、学生の歯科医院に対する好きか嫌いかの感情を聞いた。

その結果は図3.2gの通りであるが、55%の学生はどちらでも無いと答えているが、35%は大嫌いだと答え、少し嫌いだと答えた学生は3%で、合わせて38%の学生は歯科医院に対して多少とも嫌いな感情を持っている事が解った。一方、少し好きは僅か3%、大好きも僅か4%で、歯科医院に対して多少とも好きな感情を持っている学生は合わせても僅か7%であった。

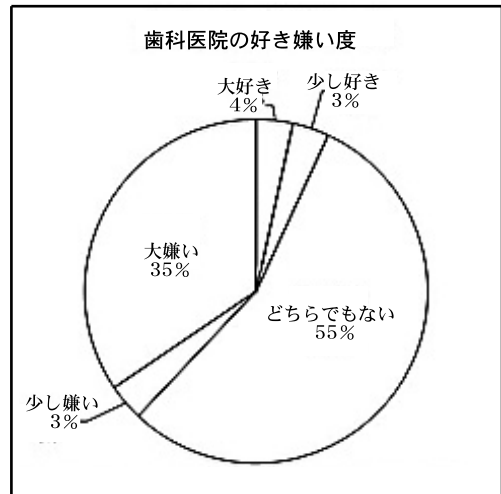


図3.2g

3.2.8 歯科医院への印象

設問8では、同じく、学生の歯科医院に対して持っている印象を、重複回答を可として聞いた。

その結果は図3.2hの通りであるが、何とも思わないと答えた学生が28%いる一方で、高い21%、痛い18%、怖い12%と、合わせて51%の学生は何等かの悪い印象を持っており、清潔15%、怖くない3%、痛くない3%の何等かの良い印象の合計21%を大きく凌いでいる事が解った。しかし、汚い、安い、と答えた学生はいなかった。

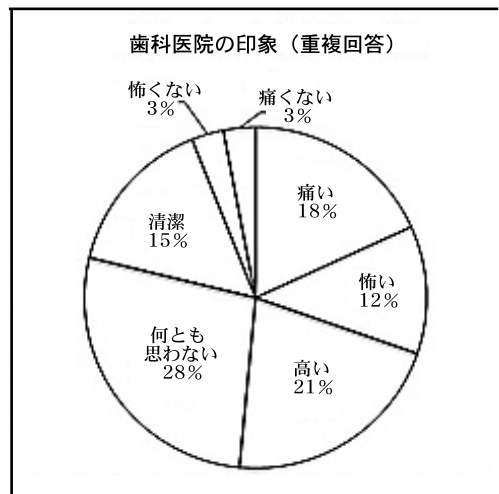


図3.2h

3.2.9 嗜好品

設問9では、学生の嗜好品について、重複回答を可として聞いた。

その結果は図3.2.iの通りであるが、

- 第1位チョコレート、
- 第2位ケーキ、
- 第3位ココア、
- 第4位お菓子、
- 第5位コーラ、
- 第6位ガム、
- 第7位パン、
- 第8位コーヒー、
- 第9位茶、と続いた。

これらの嗜好品について、一人で何種類嗜好しているかを集計したのが、図3.2.jである。

どれも嗜好していない学生は僅かではあるが3%いる反面、大半の学生(64%)は少なくともどれか1種類は嗜好しており、2種類以上嗜好している者も33%いるが、9種類全部嗜好している者も7%いた。

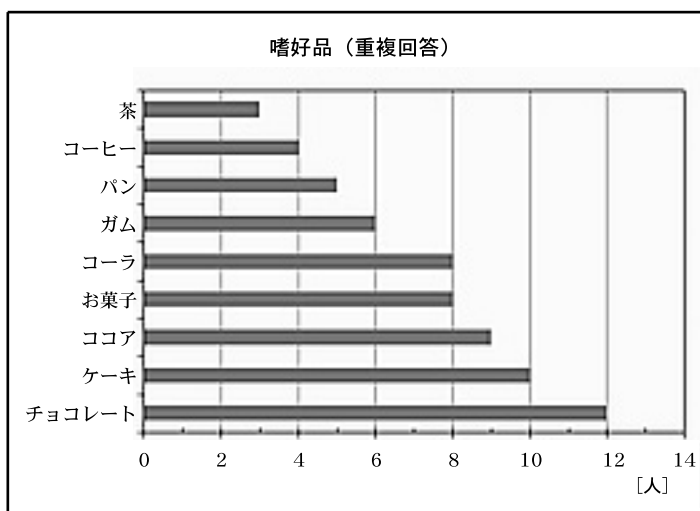


図3.2i

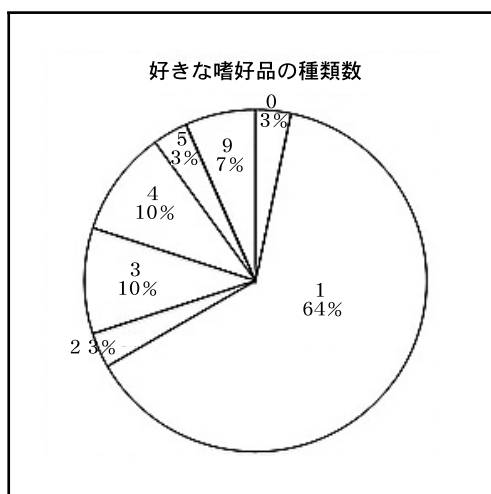


図3.2j

3.2.10 喫煙習慣

設問10では、同じく、学生の喫煙習慣について聞いた。

その結果は図3.2.kの通りであるが、93%の学生は吸わないと答えているが、僅かに、4%の学生は1日に2~10本吸うと答え、また、3%の学生は1日に10本以上吸うと答えた。つまり、明らかに喫煙習慣のある学生は7%程度である。

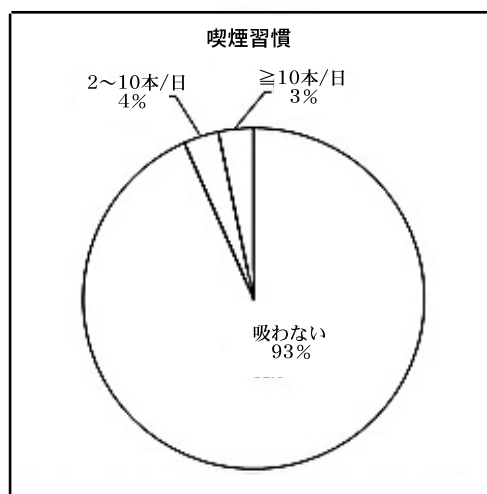


図3.2k

3.2.11 自分の口臭

設問11では、自分の口臭に付いて、学生がどう思っているかを聞いた。

その結果は図3.2lの通りであるが、自分の口臭が気にならない学生は50%で、気になる学生47%とほぼ拮抗している中で、自分の口が臭いので嫌われていると自覚している学生も3% (1人)いた。

しかし、自分の口は臭いと答えた学生や、人から口が臭いと言われたと答えた学生は、いなかった。

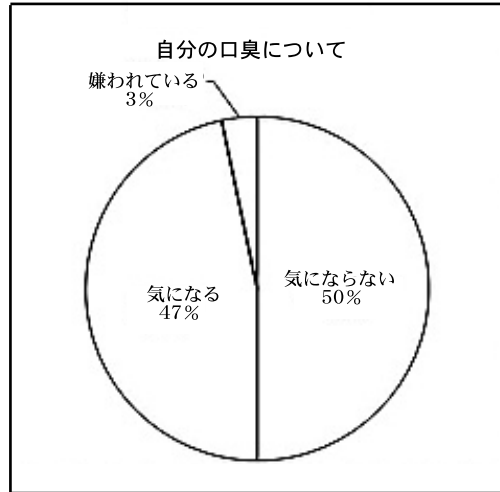


図3.2l

3.2.12 他人の口臭

設問12では、同じく、他人の口臭に付いて、学生がどう思っているかを聞いた。

その結果は図3.2mの通りであるが、他人の口臭が気にならない学生は33%に留まり、気になる57%、嫌い10%で、合わせて67%の学生は他人の口臭に何等かの不快感を持っている事が解った。

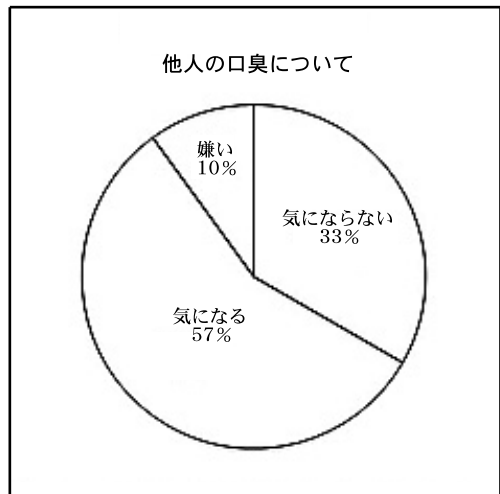


図3.2m

3.2.13 近くに口の臭い人がいるか

設問13では、自分の近くに口の臭い人がいるかどうかについて聞いた。

その結果は図3.2nの通りであるが、自分の近くに口の臭い人はいないと答えた学生は67%もいる反面、1人いると答えた学生は27%、2人3%、3人以上3%で、合わせると、33%の学生は自分の近くに口の臭い人がいると答えている。

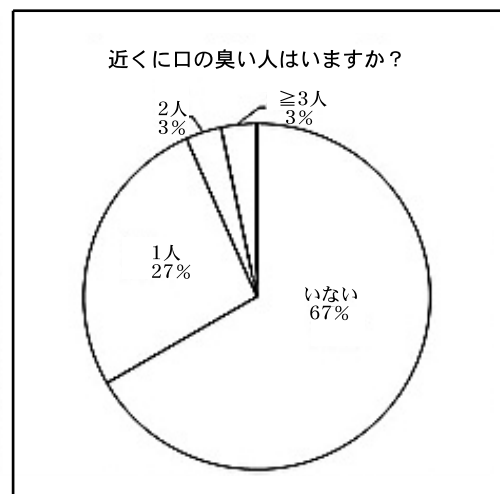


図3.2n

3.2.14 口の臭い人がいる場所

設問14では、同じく、口の臭い人が何処にいるかを学生に重複回答を可として聞いた。

その結果は図3.2oの通りであるが、

第1位：電車やバス

第2位：いない

第3位：友達ないしは教室

第5位：アルバイト先ないしは家族

第7位：今自分の横にいる

であった。

つまり、口が臭い人は、自分の身近な者より、むしろ、電車やバスなどの交通機関で出会う見ず知らずの人に多いと感じている事が解った。

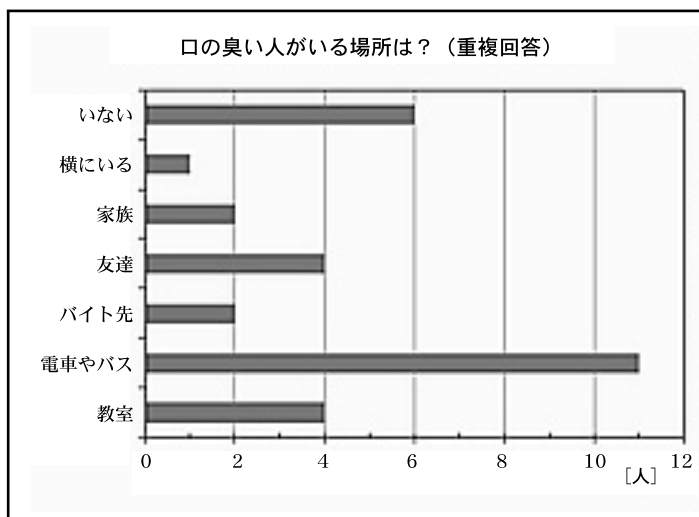


図3.2o

3.2.15 スケーリング治療

設問15では、歯肉炎ないしは歯周病の基本的な治療法である歯石除去術のスケーリング治療について学生の知見を聞いた。

その結果は図3.2pの通りであるが、63%の学生は知らないと答えている。治療経験者は0%で、興味が無い学生が7%いる一方、知りたい10%、興味が有る10%、治療を受けたい10%と、合わせて30%の学生は前向きな意思を持っている事が解った。

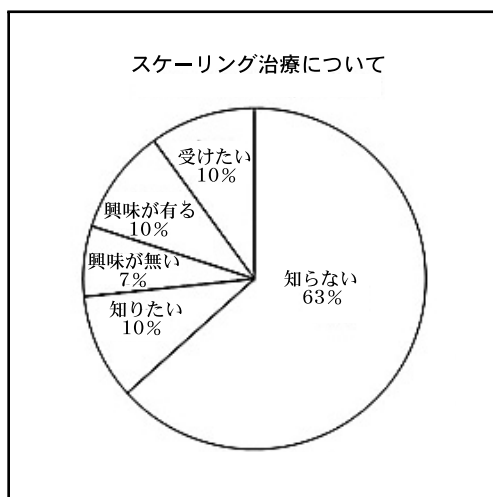


図3.2p

3.2.16 矯正歯科

設問16では、歯並びを矯正したりする矯正歯科について学生の知見を聞いた。

その結果は図3.2qの通りであるが、30%の学生は知らないと答えている。興味が無い学生が23%いる一方、知りたい13%、興味が有る20%、治療を受けたい7%、治療経験者7%と、合わせて47%の学生は矯正歯科に前向きな意思を持っている事が解った。

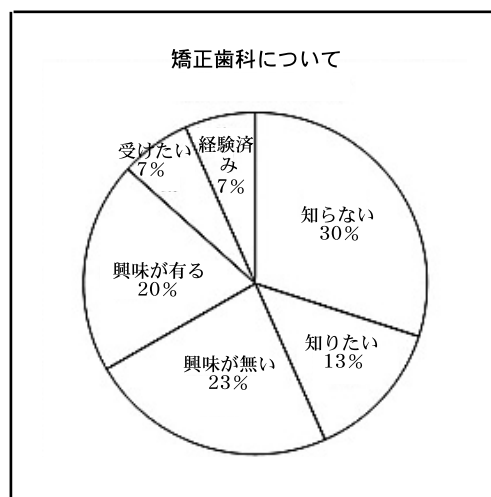


図3.2q

3.2.17 ホワイトニング歯科

設問17では、最近、日本で流行中の審美歯科（歯列矯正や美白、オールセラミックスなど、審美性を主眼にした歯科治療の事）の代表的な一種である歯を白くするホワイトニング（美白）歯科について、学生に聞いた。

その結果は図3.2rの通りであるが、37%の学生は知らないと答えている。興味が無い学生が10%いる一方、治療経験者は0%であるものの、知りたい17%、興味が有る23%、治療を受けたい13%と、合わせて53%の学生はホワイトニング歯科に前向きな意思を持っている事が解った。

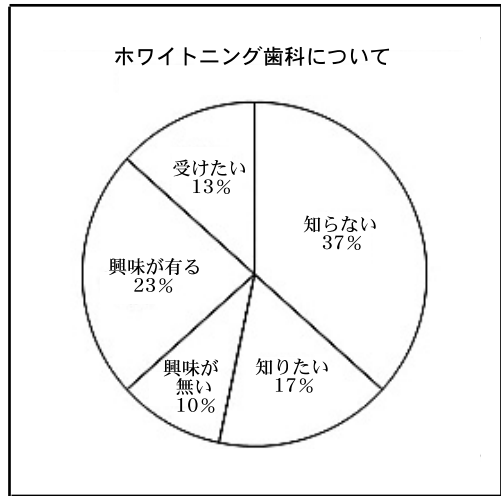


図3.2r

3.2.18 インプラント歯科

設問18では、同じく、最近、日本で流行中のインプラント歯科について、学生の知見を聞いた。

その結果は図3.2sの通りであるが、56%の学生は知らないと答えている。また、興味が無い学生が27%いる一方、治療経験者ないし治療を受けたい者は共に0%で、知りたい10%と興味が有る7%を合わせても僅か17%であった。学生は未だインプラント歯科には前向きな意思を持っていない事が解った。

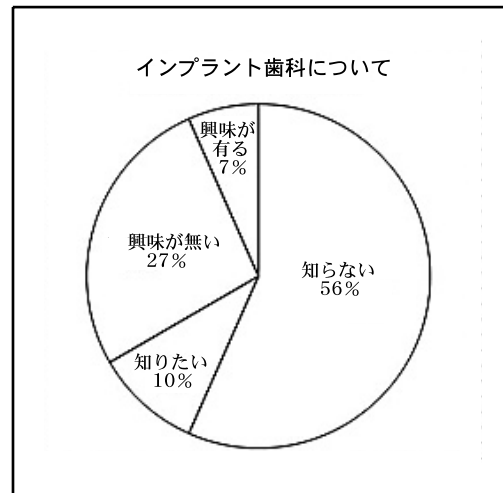


図3.2s

3.2.19 虫歯や歯周病の原因について

設問19では、虫歯や歯周病の原因について、学生の知見を聞いた。

その結果は図3.2tの通りであるが、70%の学生は知らないと答えている。また、興味が無い学生は0%である一方、知りたい20%と興味が有る7%、セミナーを受けた事がある3%を合わせても30%であった。学生は未だ虫歯や歯周病の原因については余り前向きな意思を持っていない事が解った。

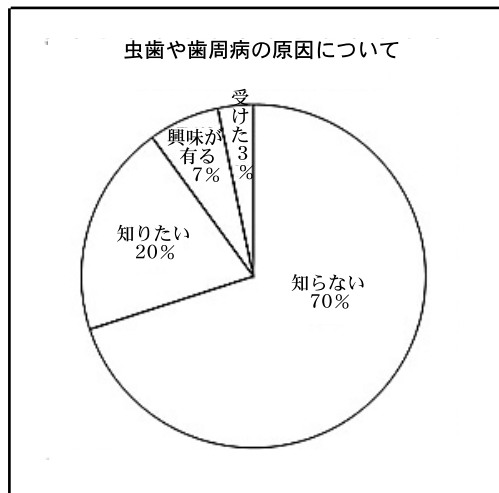


図3.2t

3.3 アンケートの集計と結果の提示

上記3.1および3.2に得られた結果は、再びGoogleAppsのsiteを用いたWebテキストを作成して、学生に提示した(図3.3a)。

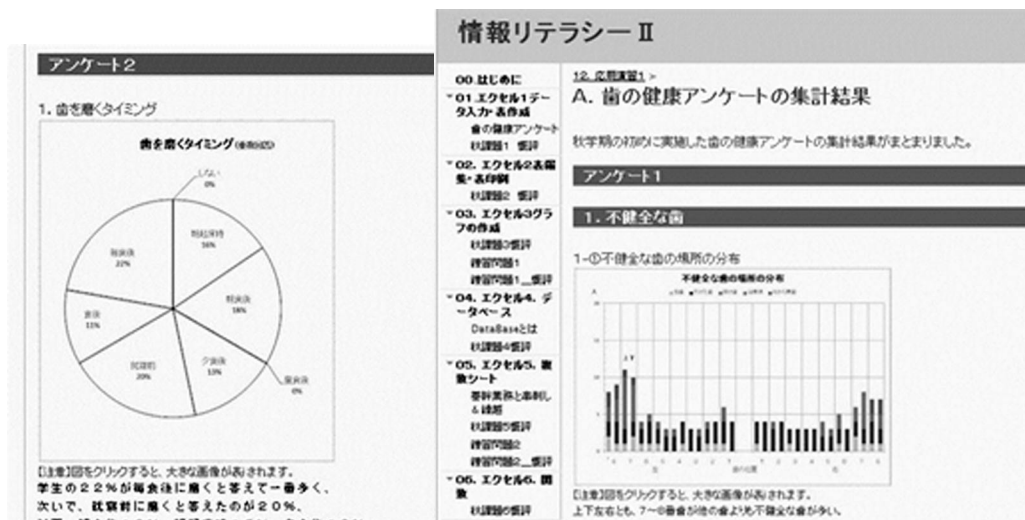


図3.3a

4. 応用演習

第1段階の後半から第2、第3段階は、情報リテラシー の授業の最終部分である応用演習の課題として実施した。

学生は、前述の結果を見て、自分の歯の状況を自覚すると共に、応用演習の課題として、GoogleAppsのsiteを用いたWebテキスト(授業ノート)からアンケートの集計データをExcelシートにコピー(図4a)し、Excelを用いて分析グラフ(2D積み上げ棒グラフ; 図4b)を作成して、さらに、Wordを用いて作成したレポート「ライフマネジメントと歯の健康管理」に挿入する(図4c)実習を通じて、ライフマネジメントとしての評価(Check)の具体的な手法を実習した。

ここで、これらの実習内容の詳細は、筆者がGoogleAppsのsiteを用いて作成したWebテキスト(授業ノート)「応用演習」に、作業手順を追って詳しく解説されている(図4d)。

1	実行結果	歯															
2	歯位	8	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8
3	虫歯	2	1	1	1	1	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1
4	欠けた歯	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
5	抜けた歯	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	治療済	2	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	治療済	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8																	
9	虫歯	1	2	1	0	1	0	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1
10	欠けた歯	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
11	抜けた歯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12	治療済	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
13	治療済	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14	歯位	8	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8

図4a

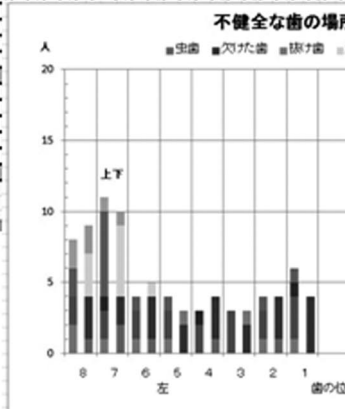


図4b

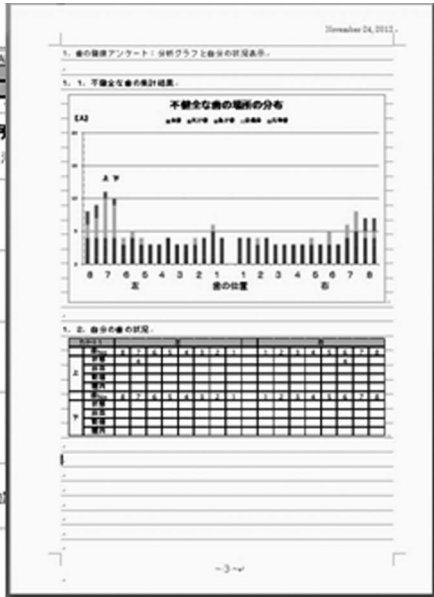


図4c

3. レポートにグラフをリンクし貼り付ける

資料集のB12~B17, 参考資料 WordにExcelのデータを貼り込む、授業ノートの準備、別窓にWordにExcelのデータを貼り込むを参照しながら、

1. 前述で作成したグラフをレポートに貼り付けて下さい。
2. 自分のデータをレポートに貼り付けて下さい。

【図表を貼り付】

1. 貼り付けるグラフを選択して、貼り付けたい位置をクリックしてください。

2. 貼り付けたいグラフを選択して、貼り付けたい位置をクリックしてください。

3. 貼り付けたいグラフを選択して、貼り付けたい位置をクリックしてください。

4. 貼り付けたいグラフを選択して、貼り付けたい位置をクリックしてください。

5. 貼り付けたいグラフを選択して、貼り付けたい位置をクリックしてください。

6. 貼り付けたいグラフを選択して、貼り付けたい位置をクリックしてください。

7. 貼り付けたいグラフを選択して、貼り付けたい位置をクリックしてください。

8. 貼り付けたいグラフを選択して、貼り付けたい位置をクリックしてください。

9. 貼り付けたいグラフを選択して、貼り付けたい位置をクリックしてください。

10. 貼り付けたいグラフを選択して、貼り付けたい位置をクリックしてください。

11. 貼り付けたいグラフを選択して、貼り付けたい位置をクリックしてください。

12. 貼り付けたいグラフを選択して、貼り付けたい位置をクリックしてください。

13. 貼り付けたいグラフを選択して、貼り付けたい位置をクリックしてください。

14. 貼り付けたいグラフを選択して、貼り付けたい位置をクリックしてください。

15. 貼り付けたいグラフを選択して、貼り付けたい位置をクリックしてください。

16. 貼り付けたいグラフを選択して、貼り付けたい位置をクリックしてください。

17. 貼り付けたいグラフを選択して、貼り付けたい位置をクリックしてください。

18. 貼り付けたいグラフを選択して、貼り付けたい位置をクリックしてください。

19. 貼り付けたいグラフを選択して、貼り付けたい位置をクリックしてください。

20. 貼り付けたいグラフを選択して、貼り付けたい位置をクリックしてください。

図4d

続いて、学生は、第2段階として、Googleを用いてネットから歯の疾病や治療法に関する歯科情報を広く検索・収集し(図4e) 学習した。

最後に、第3段階として、学生は、上記の第1～第2の段階の結果に基づいて、いよいよ、自分の歯の健康を管理するためのライフプランを立て、Wordを用いてレポート(図4f)にまとめると共に、PowerPointを用いてプレゼンテーション(図4g)を作成した。

レポートおよびプレゼンテーションは、gmailに添付して、筆者に送信し、最後に筆者がそれらをまとめて総評を行った。

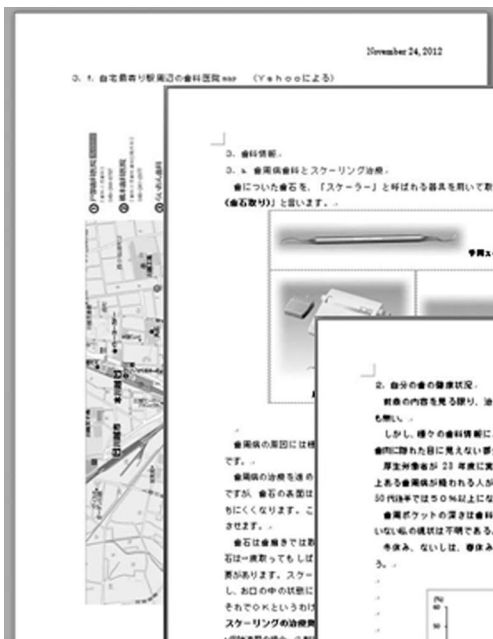


図4e



図4f



図4g

5.事後アンケート

最後に、事後アンケートを取って、演習の効果を分析した。アンケートの実施は、前回と同じく、アンケート調査票をGoogleAppsのsiteを用いた情報リテラシーのWebテキスト(授業ノート)に作成し、それを授業中の教室で自分のノートPCから見た学生がExcelを用いてアンケートの回答を作成し、gmailに添付して筆者に送信する、という方法で行った。

同クラスの受講生は35名であるが、アンケート実施当日の欠席者は12名であったため、アンケート回答者は23名であった(表3.1aの)。回収されたアンケート・データにデータの不良は無かった。アンケート回答者の内、女性は10名(43%)であった。同じく、アンケート回答者の内、2名(9%)は総合政策学科の1年生であり、その他21名(91%)はライフマネジメント学科の1年生であった。

アンケートの結果、今回の取り組みについて、解らない4%、どちらでも無い35%ではあるが、少しは役に立ったと答えた学生が48%おり、全く役に立った4%と合わせると52%と半数以上になり、余り役に立たない9%を圧倒しているうえ、全く役に立たないが0%であった(図5a)。同じく、「歯の健康に興味があるか?」との問いには、解らない10%、どちらでも無い9%ではあるが、少しは有る35%で、全く有る13%と合わせると48%とほぼ半数に上り、全く無い8%と余り無い35%の合わせた43%をやや上回った(図5b)。

また、「歯の健康に不安があるか?」との問いには、解らない4%、どちらでも無い9%ではあるが、少しは有る35%で、全く有る9%と合わせると44%とほぼ半数近く、全く無い10%と余り無い43%の合わせた43%をほんの少し上回った(図5c)。

しかし、「歯の健康に関する情報に興味は有るか？」との問いには、解らない0%、どちらでも無い17%で、少しは有る30%、凄く有る0%、情報が欲しい0%と合わせた30%よりも、全く無い9%と余り無い44%の合わせた53%の方が多かった(図5d)。

なお、「歯の健康情報はどの形態が良いか？」との問いには、今回多用したWebテキスト(授業ノート)を含むホームページ形式と答えた学生が39%で最も多く、次いで、授業22%、パンフレット17%、ツイッター9%、Facebook 4%となり、ブログやYouTubeは0%で、解らないが9%であった(図5e)。

一方、歯科セミナーおよびインプラント、ホワイトニング、矯正歯科、歯周病科のスクレーピング治療などの専門歯科についての関心度を聞いたところ、ホワイトニングに関する関心度が最も高く、興味有る・知りたい・(治療)を受けたい等を合わせると90%以上の学生が興味を示した。次いで、歯周病科のスクレーピング治療が合わせて60%超、矯正歯科が合わせて50%弱となった。インプラントや歯科セミナー等には余り興味を示さなかった。(以上、図5f)

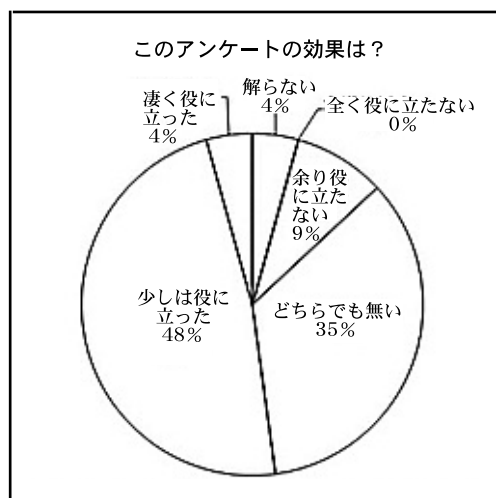


図5a

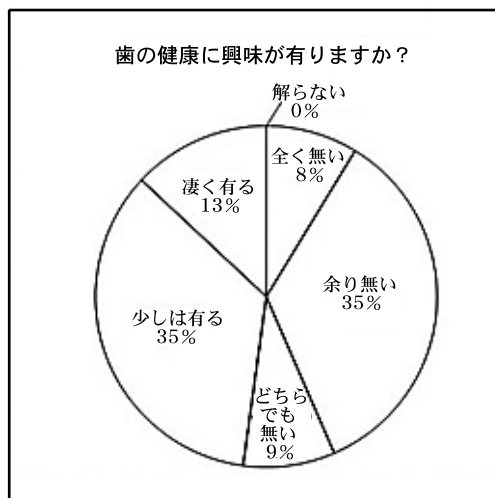


図5b

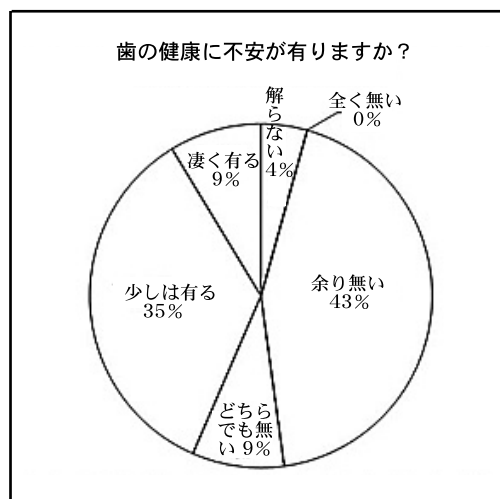


図5c

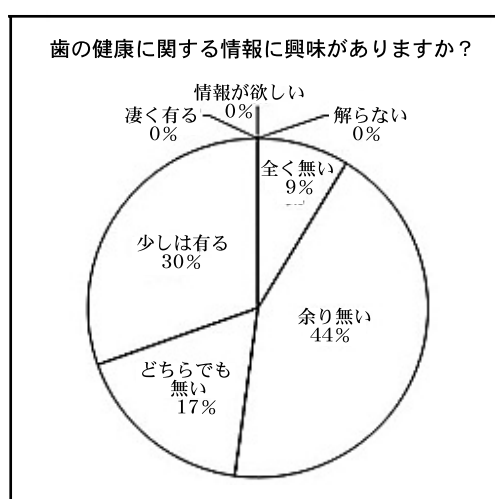


図5d

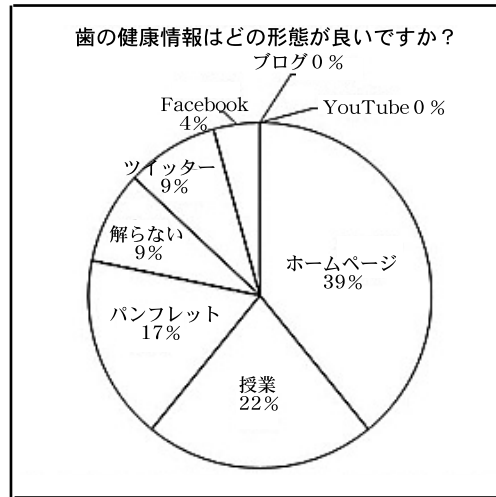


図5e

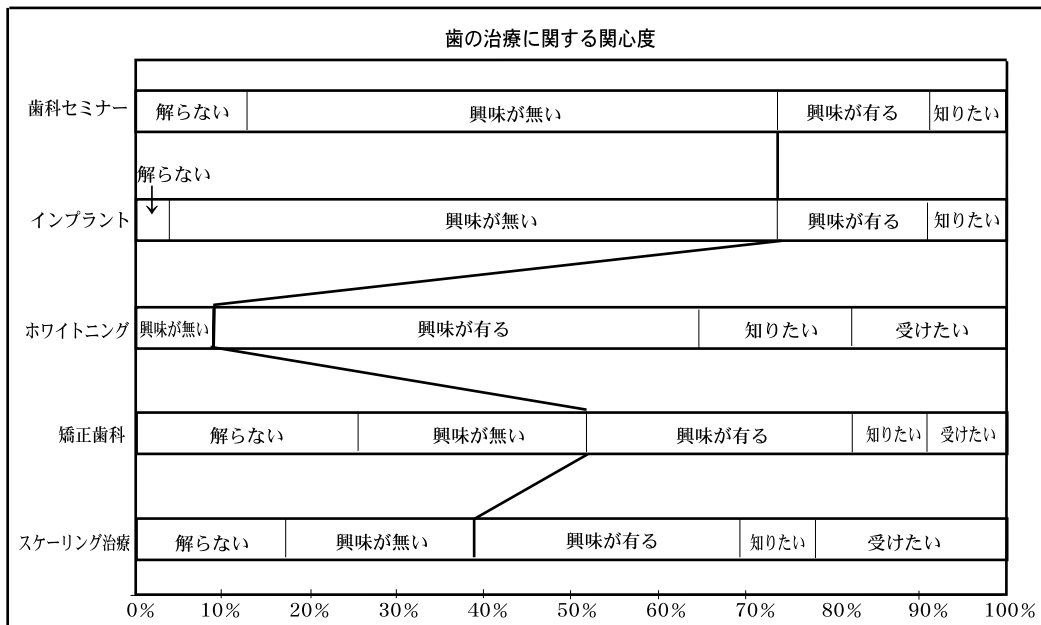


図5f

6. 考察

6.1 アンケートの結果について

アンケートの結果について、受講生の歯の健康状態は概ね良好であったが、今回は、そのデータの詳細を厚生労働省が実施した歯科疾患実態調査（2011）の結果等とは比較評価しない。この論文の主旨とは異なるからである。この論文の主旨は、ライフマネジメントという観点から、学生の歯の健康管理を学生自ら行う手法をGoogleAppsのsiteを用いた情報リテラシーのWebテ

キスト（授業ノート）を中心にして展開し、その効果を測る事である。

しかしながら、アンケートの結果について、厚生労働省が実施した歯科疾患実態調査（2011）の結果等と比較し評価する事は非常に重要である。

従って、この部分については、別途、論文を新たに起こし、別の機会に投稿したい。

6.2 受講学生の歯の健康に関する関心度について

受講生の歯の健康に関する関心度とその原因は、上記3.1と3.2に詳述されたアンケート & の結果から、その大略を推察する事が出来る。

上記3.1と3.2にまとめられたアンケート & の結果からは、以下の事が言える。

アンケート回答者28名で存在すべき健全な歯は本来32本/人 × 28人 = 896本であるが、その内、今回、不健全である事が解ったのは156本で、僅かに17.4%であったから、残りの740本、82.6%は健全な歯であった（表3.1b）。

これを人別のヒストグラムに直してみると、28名中11名（39%）は全歯が健全であり、不健全な歯が5本未満の学生は合わせて19名（68%）いた（図3.1d）。

更に、これを不健全な歯の種類数によるヒストグラムに直してみると、不健全な歯の種類が1種類以下の学生は合わせて24名（86%）いた（図3.1e）。

これらの結果は、歯肉からの出血（図3.1gおよびh）や、歯の動揺（図3.1l およびm）、歯肉の腫れ（図3.1qおよびr）等でも全く同様であった。

歯肉からの出血に関し、図3.1gおよびhと図3.2dの結果は矛盾している。

歯が痛くなった時、学生の殆ど（90%）は歯科医院に受診し（図3.2e）、殆どの学生（90%）はかつて1回以上の歯科医院受診経験を持つ（図3.2f）が、その結果、学生の38%は歯科医院に対して多少なりとも嫌いな感情を持っており（図3.2g）、学生の51%は、歯科医院が高い・痛い・怖い等悪い印象を持っている（図3.2h）。

学生の殆どは歯に悪いと言われる喫煙習慣が無い（93%；図3.2k）が、その反面、大半の学生（97%）は歯に悪いチョコレートやケーキ・ココア・お菓子・コーラ・ガム・パン・コーヒー・茶等の嗜好品を少なくとも1種類以上好んでおり、中には全部好きと答えた学生も7%いた（図3.2j）。

自分の口臭については、気になる学生と気にならない学生が拮抗している（図3.2l）が、他人の口臭については気になる学生の方が57%と多い（図3.2m）。口の臭い人は自分の周りには余りいない（図3.2n）反面、電車やバスなどの交通機関で出会う見ず知らずの人には多いと感じている（図3.2o）。

歯科セミナーないしは虫歯や歯周病の原因、およびインプラント、ホワイトニング、矯正歯科、歯周病科のスケーリング治療などの専門歯科については、多くの学生が知らないと答え、また、興味が無いとも答えている（図3.2p～t）。

以上をまとめると、現在、アンケートに回答した学生諸君は、自身の歯に殆ど異常が無く健全で、かつ、歯の健康に関する知識がほとんど無い為、歯科情報にはあまり関心が無く、歯科医院に受診した経験は有るものの、余り良い印象は持っておらず、他人の口臭は気になるものの、自

身の口臭には余り気にせずに、喫煙習慣こそは無いが、歯に悪い嗜好品には全く無頓着な食習慣である。

6.3 応用演習の効果について

GoogleAppsのsiteを用いたWebテキスト（授業ノート）でアンケート & の集計結果を提示し（図3.3a）、「ライフマネジメントと歯の健康管理」をテーマに、GoogleAppsのsiteを用いたWebテキスト（授業ノート）を用いて、GoogleをはじめWord・Excel・PowerPointを道具として総合的な応用演習を行い（図4a～g）、事後アンケート（アンケート）を取った結果、半数前後の学生は多少とも役に立ったと答え、歯の健康に興味があり、歯の健康に不安が有る、と答えた（図5a～c）。

未だ多くの学生（44%）は歯の健康に関する情報に余り興味が無い（図5d）が、一方、ホワイトニングや歯周病科のスクーリング治療、矯正歯科等の個別の専門歯科については強い関心を示した（図5f）。しかし、図5fを秋学期の最初に実施したアンケートの結果（図6a）と比べると、多少なりとも全項目で改善しており、特に、ホワイトニングや歯周病科のスクーリング治療ではその改善度が顕著に見られた。これは明らかに今回の取り組みの成果と言える。

つまり、学生諸君が現在、歯の健康に関して余り関心が無いのは、現在、歯に何らのトラブルも無い事も有るが、むしろ、歯の健康に関する啓蒙を今までほとんど受けて来なかった事の方が主たる原因であると言える。従って、大学などで系統的な啓蒙を十分に受ければ、歯の健康に関する関心度は飛躍的に向上する可能性がまだまだ有ると言える。

なお、歯の健康情報の形態については、今回多用したGoogleAppsのsiteを用いたWebテキスト（授業ノート）を含むホームページ形式が良いと答えた学生が39%で最も多かったが、現在流行中のツイッターやFacebook・ブログ・YouTubeは評価が良くなかった（図5e）。

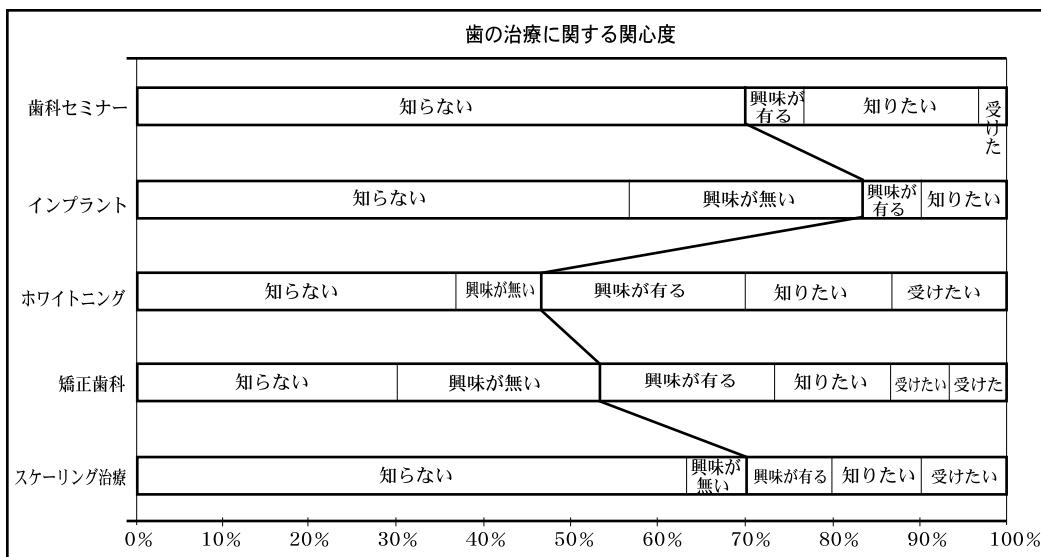


図6a

以上の事実から、情報リテラシー等の実習科目を通じて、GoogleAppsのsiteを用いたWebテキスト（授業ノート）の形態で歯の健康に関する啓蒙を行う事は、ライフマネジメントという観点から、学生の歯の健康管理には非常に有意義で効果の有るものであると言える。

6.4 今後の課題

今回の取り組みで得られた結果を基に、ライフマネジメントとしての、その術策の更なる改善が必要である。その為には、今回の取り組みに積極的に協力してくれるような歯科大学を探す必要がある。

一方、学生が安心して受診できる近隣の歯科医院や歯科医師会、歯科大学とその付属歯科病院などとのネットワークも必要であると思われる。

特に、学生の歯の健康管理は、本学に限った問題では無く、国内の大学の全てに広く共通した問題で有る。その為には、公的資金が必要で有るかも知れないが、今回の取り組みは、日本歯科医師会と厚生労働省がかねてより積極的に推進している「80歳になっても自分の歯を20本以上保とう」という8020運動（1989）とも合致するものであるから、アクション次第では、公的資金を獲得出来る可能性は十分に有り、また、本学が8020運動のモデル大学に選ばれる可能性も十分に有る。その為にも、学内に共同研究者とワークショップが必要である。

結 論

今回の取り組みの成果は、筆者が担当する情報リテラシーを受講する学生に限ったものであるが、以上の結果をまとめると、以下のようになった。

現在、アンケートに回答した学生諸君は、自身の歯に殆ど異常が無く健全で、かつ、歯の健康に関する知識がほとんど無い為、歯科情報にはあまり関心が無く、歯科医院に受診した経験は有るものの、余り良い印象は持っておらず、他人の口臭は気になるものの、自身の口臭には余り気にせず、喫煙習慣こそは無いが、歯に悪い嗜好品には全く無頓着な食習慣である。

「ライフマネジメントと歯の健康管理」をテーマに、GoogleAppsのsiteを用いたWebテキストを多用し、GoogleをはじめWord・Excel・PowerPointを道具として総合的な応用演習を行った結果、半数前後の学生は多少とも役に立ったと答え、歯の健康に興味があり、歯の健康に不安が有る、と答えた。

未だ多くの学生は歯の健康に関する情報に余り興味が無いが、一方、ホワイトニングや歯周病科のスクレーピング治療、矯正歯科等の個別の専門歯科については強い関心を示し、その意識は明らかに改善された。

詰まり、学生諸君が現在、歯の健康に関して余り関心が無いのは、現在、歯に何らのトラブルも無い事も有るが、むしろ、歯の健康に関する啓蒙を今までほとんど受けて来なかった事の方が主たる原因であると言える。従って、大学などで系統的な啓蒙を十分に受ければ、歯の健康に関する関心度は飛躍的に向上する可能性がまだまだ有ると言える。

以上の事実から、情報リテラシー等の実習科目を通じて、GoogleAppsのsiteを用いたWebテキストを多用する形態で歯の健康に関する啓蒙を行う事は、ライフマネジメントという観点から、

学生の歯の健康管理には非常に有意義で効果の有るものであると言える。

今後の課題としては、今回の取り組みに積極的に協力してくれるような歯科大学を探す必要がある。また、学生が安心して受診できる近隣の歯科医院や歯科医師会、歯科大学とその附属歯科病院などとのネットワークも必要であると思われる。特に、学生の歯の健康管理は、本学に限った問題では無く、国内の全大学に広く共通した問題で有るから、その為には、公的資金が必要で有るかも知れないが、今回の取り組みは、日本歯科医師会と厚生労働省がかねてより積極的に推進している8020運動とも合致するものであるから、アクション次第では、公的資金を獲得出来る可能性は十分に有り、また、本学が8020運動のモデル大学に選ばれる可能性も十分に有る。その為にも、学内に共同研究者が必要である。

謝 辞

西嶋尚史教授には、日頃より、ご指導とご鞭撻をいただき、大変お世話になりました。この場を借りて、深く感謝の意を表したいと思います。また、尚美学園大学教育支援センターメディアセンターの黒川恵氏はじめスタッフの皆様方には多大なお世話になっている事を心より感謝致します。

引用文献

- 厚生労働省、(1989)、8020運動
- 厚生労働省、(2011)、平成23年歯科疾患実態調査
- 上村協子、(2012)、知恵蔵2012